

## VI 意欲と指導力のある教職員を確保・育成するとともに、教職員が職務に専念できる体制を整備する

### (14) 信頼される教職員の確保

#### 36 優れた教職員の採用・登用

使命感を持ち、熱意と愛情にあふれ、子どもたちや保護者等から信頼される優れた教職員を採用・登用します。

 達成指標	教員採用選考において、インターンシップ研修生が本市を受験する率	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		77%	<del>80%</del> 81%	<del>80%</del> 81%	85%
 達成指標	免許外教科担任の許可申請件数	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		50件	<del>50件</del> 44件	<del>45件</del> 44件	40件

(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
129	教職インターンシップの推進	本市教員を希望する大学生等を対象に、小学校での実践研修の機会を提供し、教員としての資質能力を高めることにより、優秀な教員の確保を図ります。	35	小学校及び特別支援学校にインターンシップ研修生を派遣する。	教職員課
130	中学校教科担任教員の確保	中学校における免許外教科担任の解消を図るため、非常勤講師を配置します。	0	平成22年度も、非常勤講師を配置する予定である。	教職員課
131	教員採用選考方法の工夫改善	現在、採用選考で採り入れている「教職経験者特例」などの選考方法を充実させるとともに、さらに優れた人材を確保するため、県との共同実施から本市の単独実施に向けて検討を行います。	1,739	本年7月に第1次選考を、8月に第2次選考の実施をする予定である。引続き「教職経験者特例」や「県外選考の拡充」などを実施する。採用選考の単独実施については、今後、さらに検討していく。	教職員課

1,774

### (15) 教職員の資質・指導力の向上

37 教職員の資質・指導力の向上に向けた各種研修の充実

職務遂行に必要な研修や教職員のキャリアに応じた研修を計画的に実施し、教職員の資質や指導力の向上を図り、優れた教育実践の普及を目指します。

 達成指標	基本研修受講者の満足度	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		80%	—85%90%	90%	90%
 達成指標	全教職員に対する専門研修受講者の割合	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		94%	96%	100%	100%
 達成指標	現場研修員、内地留学生、長期研修生、海外派遣研修の研究、研修成果の発表	現状	平成21年度	目標値	(指導課、教育セ)
		全研修員による研究・研修成果の発表の実施			

No.	アクションプラン名	事業内容	(千円) 22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
132	ライフステージに応じた研修の実施	管理職等を対象とする新任時研修(新任教務主任研修、新任教頭研修、新任校長研修)と経験者研修(初任者・5年経験者・10年経験者・20年経験者)を、計画的に実施します。	9,066	管理職等を対象とする新任時研修(新任教務主任研修、新任教頭研修、新任校長研修)と経験者研修(初任者・5年経験者・10年経験者・20年経験者)事務職員研修(事務職員初任者研修、事務職員全体研修、事務職員層別研修)を、計画的に実施する。	教育センター
133	教職員のニーズに応じた研修の実施	教職員が夏季休業を利用し、力量向上のため、自主的に受講する専門研修を実施します。また、各学校の特色ある教育活動を支援する出前講座や、基礎的な教科指導力・基本的な学級経営力の向上に役立つ各種講座等を実施します。	2,435	教職員が夏季休業を利用し、力量向上のため、自主的に受講する専門研修を実施する。また、各学校の特色ある教育活動を支援する出前講座や、基礎的な教科指導力・基本的な学級経営力の向上に役立つ各種講座等を実施する。	教育センター

134	現場研究員による研究	現場研究員を委嘱し、勤務校における実践的な研究を通して、各教科及びその他の教育活動に関する専門的資質を向上させ、本市学校教育の課題解明を図ります。	305	現場研究員50人が、千葉市学校教育の課題解明のために、各教科領域において研究主題を設定し、1年間の実践研究を行い、報告書をまとめる。	指導課
134	内地留学（他府県での研修）の実施	他府県での研修の機会を設け、各教科及びその他の教育活動に関する専門的資質を向上させ、本市学校教育の課題解明を図ります。	0	（休止する。）	指導課
134	長期研修の実施	長期の研修の機会を設け、教育専門職としての資質力量を高め、本市教育の充実発展に寄与する人材を育成します。	96	大学院へ2人の長期研修生を2年間、大学へ5人の長期研修生を1年間派遣する。研修成果については、発表会で報告するとともに、報告書にまとめる。	指導課
134	海外派遣研修の実施	教員等に諸外国の教育等の実情を視察させ、国際的な視野に立った識見を高め、本市教育の充実発展に寄与する人材を育成します。	750	千葉市独自の派遣は、当分の間休止する。また、独立行政法人教員研修センター主催の課題別研修については、15人を10日間程度派遣する。本市教育課題の解明と具体的改善に結びつくような研修テーマで実施し、その成果については、報告会やHPへの掲載などを通じて広く紹介する。	指導課
135	特別支援教育研修の実施	教職員を対象とし、特別支援教育を実践していく上の諸問題の解決に役立つ研修を実施し、専門職としての資質と指導力の向上を図るとともに、公開講座を通して、教職員及び市民への特別支援教育に対する理解の推進を図ります。また、発達障害者支援センター等障害福祉関係機関と連携し、研修の充実を図ります。	1,418	教職員を対象に基本研修5講座、専門研修20講座を開催し、そのうち専門研修の公開講座は一般市民も対象に開催します。	養護教育センター

14,070

## 38 教育研究の奨励

本市の教育活動をより充実させ、各学校の教育力を高めるために、研究学校を指定して教育課題の解明に向けた研究を行うとともに、意欲あふれる教職員を賞揚し、優れた教育実践の蓄積とその成果の普及を図ります。

## 22「VI教職員」

達成指標	研究指定校の報告会参加人数	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		1,264人	1,650人	1,700人	1,700人
達成指標	教職員教育研究発表会の応募教科・領域等の割合	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		54%	65%	<del>70%</del> 65%	80%
達成指標	出前講座等により研究成果を校内研究取り上げる学校の割合	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		16%	<del>20%</del> 28%	<del>25%</del> 30%	40%
達成指標	教育研究奨励賞受賞者累計 (昭和36年から)	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		994人	1,019人	1,044人	1,169人

(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
136	小・中学校研究学校の指定	教育課題解明のため、研究学校を指定し、教育活動全般の研究を行い、研究発表会や実践報告書の作成を通して課題解決の促進を図ります。	小 1,376 中 826	学習指導の改善や教育課題解明に向けて、小学校10校、中学校6校の研究指定校が研究に取り組み、その成果を報告書にまとめる。	指導課
137	教育研究奨励賞による顕彰	各教科等における研究実践活動が特に顕著な教職員を表彰し、全教職員の研究奨励を図ります。	12	各教科等23分野における研究実践が、特に顕著な教職員25人を表彰する。	指導課

138	教職員教育研究発表会の実施	教育活動に関する個人またはグループでの研究や実践を対象として発表の場と機会を設け、努力を賞揚するとともに、その成果を広めて各学校の教育活動に役立てます。	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・22年度においても研究論文と実践記録の部を設け、21年度より応募を開始しており、年度末までに13研究論文、15実践報告の応募があった。</li> <li>・論文等の提出日を5月10日とし、その後所内審査を経て、8月17日に発表会を実施する。特に5年・10年経験者研修に発表会への参加を位置づけ、研究成果の普及および発表会応募への意欲化を図る。</li> <li>・研究論文については千葉市教育情報ネットワークによる配信等により、各校への普及を図る。</li> <li>・23年度分については、4月より募集を開始する。各関係機関に依頼して多くの参加を呼びかける。また、6月より、応募者に対して説明会および助言指導に当たる。</li> </ul>	教育センター
139	教育研究の推進と活用	教育課題に関する研究や学校で今求めている研究などに取り組み、出前講座等により研究成果を学校に還元します。	1,240	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～5月研究計画、研究体制確立。研究内容としては、「教師力に関する研究」「情報教育の指導法に関する研究」「幼・保・小の連携に関する研究」「予防開発的教育相談の在り方に関する研究」「小中一貫教育に関する研究」「確かな学力の育成に関する研究」に取り組む予定である。</li> <li>・5月～12月 課題研究の推進を図る。</li> <li>・3月に研究紀要・リーフレット等の各学校配布及び千葉市教育情報ネットワーク等で配信し普及を図る。</li> <li>・「確かな学力の育成を目指す学習指導」「校内研究の進め方」等の出前講座により研究成果の普及を図る。</li> </ul>	教育センター
140	千葉市教育研究会との連携	千葉市教育研究会と連携し、本市学校教育の課題解明に向けた調査研究を行います。	1,000	千葉市教育研究会に対して、教育委員会が初任者研修として位置付けている、授業を通しての実践研究を委託する。	指導課

4,454

## 39 教職員のモラル向上

本市教職員一人一人が自分の立場と職責を自覚し、服務規律を遵守するよう促します。

22「VI教職員」

 達成指標	学校管理訪問の年間実施学校数の割合	現状	平成21年度	目標値	(教職員課)
		全小・中・特別支援学校の1/3の学校で実施			

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算 (千円)	22年度の行動計画(案)	推進担当課
141	教職員服務規律の確保	学校の職場内研修をはじめ、初任者研修等の悉皆研修などで啓発を図るとともに、管理職研修や学校管理訪問を通じて、教職員に対する服務規律についての指導を行います。	21	平成22年度も、初任者研修、管理職研修及び学校管理訪問などを通じて、服務規律の指導を行う。各学校における、服務に関する校内研修の継続的実施を促す。	教職員課

21

(16) 教職員への支援体制の充実

40 外部人材等を活用した教職員支援システムの整備

学校現場において教員が充実した学校教育活動を行うため、また、子どもと向き合う時間を拡充するための具体的施策を推進します。

 達成指標	NPO人材の活用学校数 (上段：小学校、下段：中学校)	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		—	<del>30校</del> 17校	40校	90校
		—	<del>10校</del> 3校	20校	30校

 達成指標	教員の校務用コンピュータ整備率	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		17.6%	<del>17.6%</del> 21.9%	<del>17.6%</del> 21.9% (併用型77.0%)	100%

 達成指標	教員の超過勤務時間の減少の割合 (20年度を基準とする) 21年度	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		100%	<del>95%</del> 100%	95%	80%

 達成指標	学校問題解決支援体制の整備	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		—	調査・検討	調査・検討	整備 (平成23年度)

(千円)					
No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
142	NPO「ちば教育夢工房」(仮称)による支援の推進	学校への人的支援を担うNPO「ちば教育夢工房」(仮称)による学校支援を通して、きめ細かな授業や学校教育活動の充実を推進します。	2,188	子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業として実施する。	指導課
143	校務のIT化の推進	校務の効率化による教員の負担軽減等のため、全ての教員が一台のコンピュータを校務に活用できる環境を整備するなど、情報セキュリティの確保を図りつつ、校務のIT化を積極的に推進します。	0	学習用端末を、支障のない範囲で校務との併用を可能とするシステムを組む。	教育センター
			0	学校教育部と連携しつつ、各課の調整に努める。	総務課
			0	統合システム導入に向けて、学校の情報セキュリティ対策の整備と、校務でのPC一人一台導入について関係各課と検討をすすめる。	学事課
			0 (完了)		稲毛高等学校
			0 (完了)		保健体育課
144	教職員の勤務負担軽減	学校現場における教職員の勤務実態を調査し、勤務負担軽減のための検討を行い、具体的方策を探ります。	0	教職員の勤務実態等の調査結果をとりまとめる。調査結果に基づき、具体的方策の検討に入る。	教職員課

22「VI教職員」

145	教職員ヘルシーシステムの整備	精神疾患による教職員の長期休職を未然に防止するとともに、教職員のメンタルヘルス向上を図ることを目的とし、ストレスチェックや学校医・専門医による巡回訪問・面接を実施するほか、メンタルヘルス研修会を実施します。また、教職員メンタルサポート委員会を開催し、効果的な教職員へのサポート方法を協議します。	619	精神疾患による教職員の長期休職を未然に防止するとともに、教職員のメンタルヘルス向上を図ることを目的とし、ストレスチェックや学校医・専門医等による巡回訪問(18校)を実施するほか、年代別メンタルヘルス研修会を2回実施します。また、教職員メンタルサポート委員会を年2回開催し、効果的な教職員へのサポート方法を協議します。	保健体育課
			0		教職員課
146	CHIBAスクールレスキュー制度の実施	教職員の緊急相談窓口である「CHIBAスクールレスキュー」制度の充実を図ります。	0	引き続き、制度を実施するとともに、新規採用者等への周知徹底を図る。	教職員課
147	学校問題解決支援体制の整備	学校や教職員に対する過度な要求などにより、円滑な学校運営や児童生徒への指導が妨げられる状況等が生じた場合の学校支援のあり方について検討を進め、問題解決に向けた支援体制の整備を図ります。	0	特異な事例について、学校教育部への助言・サポートに努める。	総務課
			0	関係各課と連携し具体的な事例を調査して学校への支援の方法や支援体制の検討を推進する。	学事課
			0	実施調査の結果分析に基づく、具体的方策の検討に入る。	教職員課

2,807

(17) 教職員の人事管理の適正化

41 教職員の人事評価制度の実施

教職員の資質能力及び職務に対する意欲の向上を図り、学校の教育力を高めるとともに、活力があり信頼される学校づくりを目指します。

 達成指標	全市立学校長を対象とした目標申告に関する面接の実施	現状	平成21年度	目標値	(教職員課)
		実施			

22「VI教職員」  
(千円)

No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
148	目標申告制度の充実と業績評価の検討及び試行	教職員が年度目標を設定し、一人一人の自主性と自己統制に基づいて目標を達成する「目標申告制度」を充実させるとともに、その実績や過程を客観的に評価することにより、教職員の資質向上、学校組織の活性化を図ります。	0	教職員の「目標申告制度」を引き続き実施する。業績評価について、年度内に実施内容をまとめる。	教職員課

0

42 教職員表彰制度の実施

教職員の資質能力及び職務に対する意欲の向上を図り、学校の教育力を高めるとともに、活力があり信頼される学校づくりを目指します。

達成指標	教育研究奨励賞受賞者累計 (再掲Ⅶ-(15)-38)	現状	平成21年度	平成22年度	目標値
		994人	1,019人	1,044人	1,169人

(千円)					
No.	アクションプラン名	事業内容	22年度当初予算	22年度の行動計画(案)	推進担当課
149	教育研究奨励賞による顕彰 (再掲) → 137				

0

(千円)

23,126

事業実施

13

調査・調整

7